

平成30年度 学校自己評価計画書（案）

石川県立七尾特別支援学校輪島分校 NO1

重点目標		具体的取り組み（案）		主担当	現状	評価の観点	実現状況の達成度判断基準	判定基準	備考
1	専門性の向上	①	・夏期休業中にアセスメントの研修を行い、二学期以降に担当する児童生徒のアセスメントの実施を促す。客観的評価をもとにして実態把握をしたり、指導に活かしたりできるようにし、教員の専門性の向上を図る。	自 学 立 習 支 援 課	専門相談員と一部の教員のみ検査などのアセスメントができる状態であり、客観的評価をもとに実態を把握したり、指導に活かしたりすることが定着していない。	[成果指標] アセスメントの実施の程度で評価する 3点：アセスメントを実施し、指導に活かした 2点：アセスメントを実施した 1点：アセスメントの研修会に参加した 0点：参加、実施しなかった	評価の合計点が A：31点以上 B：21～30点 C：15～20点 D：15点未満 [達成目標B以上]	C以下の場合原因を分析し、取組の見直しをする。	
2	地域交流の推進	①	・地域（特に門前地区）の方々に輪島分校の周知を高める活動を行う。児童生徒とともに清掃活動や施設訪問などのボランティア活動を行う。	進 路 支 援 課	実習先の開拓が一般就労に偏り、輪島、穴水地区の大きな事業所を中心に回った為、門前地区の開拓が手薄となった感がある。小さな個人商店でも生徒の社会性を高めるのなら直接就労に繋がらない事業所でも開拓するべきと思う。また、輪島分校や障害者を理解して頂くためにも必要である。	[努力目標] 門前地区の事業所、商店を訪問し職場実習依頼をする。清掃活動や施設訪問などのボランティア活動を進路課が企画して行う。全学部での活動数をカウントし7回以上を目指す。	A：7回以上 B：6回 C：5回 D：4回 [達成目標B以上]	C以下の場合原因を分析し、取組の見直しをする。	
3	健康教育・防災教育	①	健康教育 ・児童生徒自身が体や健康に興味を持てるような、見て学び、実際に経験する体験型の保健指導を行う。	生 活 支 援 課	昨年度まで、各学部において2回以上の保健指導を実施し、その実施した内容を保護者に保健便り等でお知らせしてきた。今年度は、児童生徒に分かりやすく、そして興味をもてるような指導の工夫を行うとともに、掲示物も併せて活用し、指導の充実を図りたい。	[成果指標] 保健指導後に、授業に参加した教員にアンケートを実施。（各学部3回） 4：よかった 3：まあまあよかった 2：やや不満 1：不満	3回のアンケート結果の平均値が A：4と3合わせて90%以上 B：4と3合わせて80%以上 C：4と3合わせて70%以上 D：4と3合わせて70%未満 [達成目標B以上]	C以下の場合原因を分析し、授業内容の改善を行う。	授業終了後にアンケート実施。その結果で評価する。
		②	防災教育 ・門前高校と合同での訓練を行い、両校の防災等についての協力体制を築く。	生 活 支 援 課	昨年度から門前高校と合同校舎となり、避難訓練等の防災訓練は合同で行うことが自然だと思われる。しかし昨年度、合同訓練は一回のみの開催だった。	[成果指標] 合同訓練後に両校の教員からアンケートを取り、より良い改善ができたかどうか測る。 4：改善された 3：まあまあ改善された 2：やや改善されなかった 1：改善されなかった	アンケート結果が A：4と3合わせて80%以上 B：4と3合わせて70%以上 C：4と3合わせて60%以上 D：4と3合わせて60%未満 [達成目標B以上]	C以下の場合原因を分析し、取組の見直しをする。	中間や年度末にアンケート結果で評価する。
4	働き方改善	①	・教職員の働き方を見直し、より効率的な業務分担と協力体制を築く。	全 課	本校教職員の時間外勤務は県の平均よりも少ないが、一部の教職員は多くの業務を負担している。業務の実施や回数等の見直しと、個人に任せず同じ業務を複数人で行うような協力体制が望まれる。	[成果指標] 中間と年度末に教員からアンケートを取り、より良い改善ができたかどうか測る。 4：改善された 3：まあまあ改善された 2：やや改善されなかった 1：改善されなかった	アンケート結果が A：4と3合わせて60%以上 B：4と3合わせて50%以上 C：4と3合わせて40%以上 D：4と3合わせて40%未満 [達成目標B以上]	C以下の場合原因を分析し、取組の見直しをする。	中間や年度末にアンケート結果で評価する。